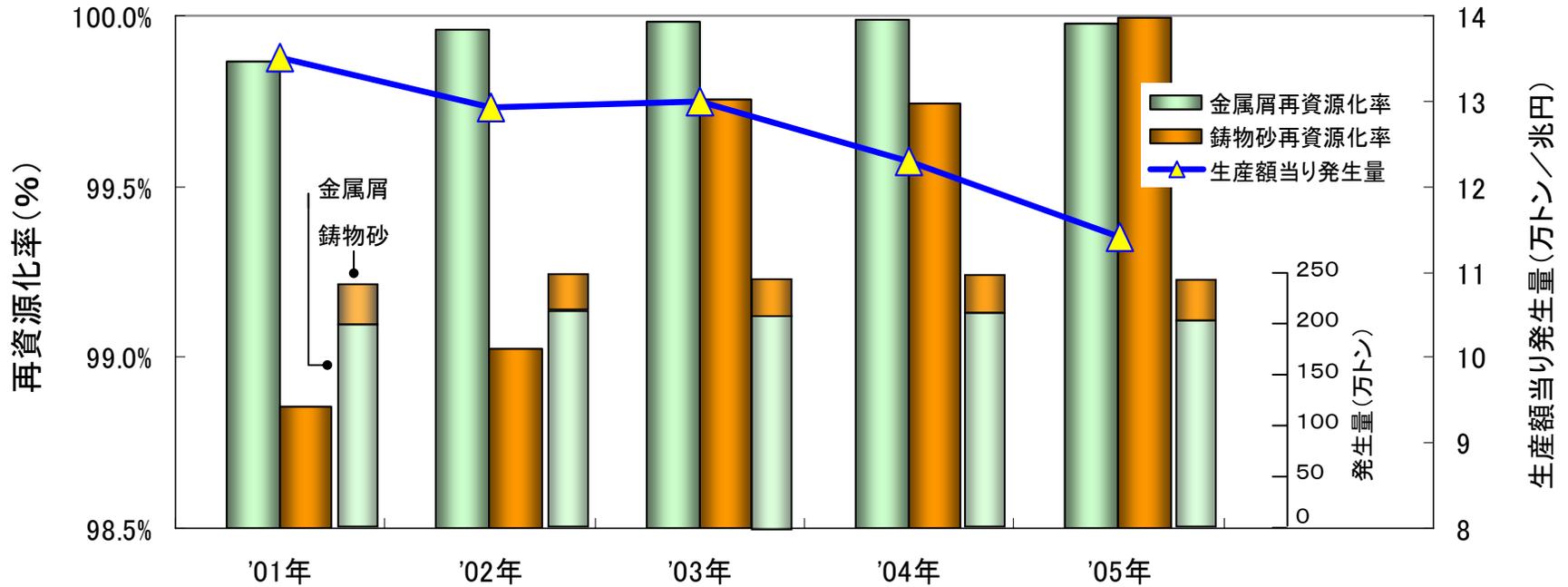


② 有効利用促進実績

- ・再資源化により、鉄鋼石約285万トン(国内使用量2.6%)、石炭約160万トン、石灰石約45万トン、ボーキサイト約87万トンなどを節約 ※(社)日本鉄鋼連盟他資料による



単位:万トン ()内は前年度比

2005年度内訳	発生量	再資源化量	再資源化率	最終処分量	最終処分率
金属くず	199.8 (98.8%)	199.8 (98.8%)	約100%	0.003 (56.1%)	0.002%
鑄物廃砂	40.0 (103.0%)	40.0 (108.1%)	約100%	0.003 (16.5%)	0.006%

Reduce

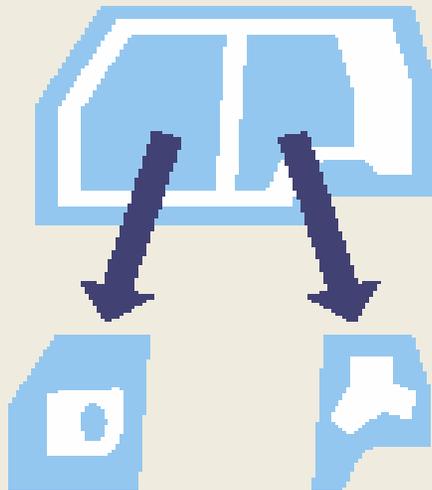
Reuse

Recycle

③ 工程内端材の活用 事例1

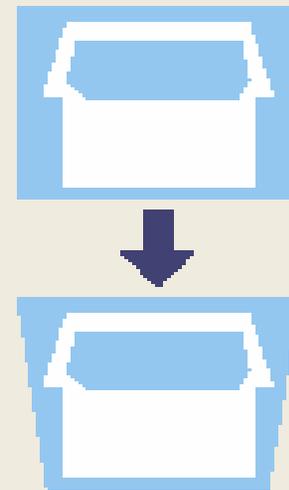
- ・プレス品の素材から発生する鉄くずを最低限に抑えるため、端材活用、異形ブランク材の活用を推進。

<実施事例1> 端材活用



※鉄くず部から別部品を取得
鉄くず部を1.7kg削減

<実施事例2> 異形ブランク材の活用



※ブランク形状変更により
鉄くず部を0.6kg削減

Reduce

Reuse

Recycle

④ 塗装工程での塗料使用量削減 事例

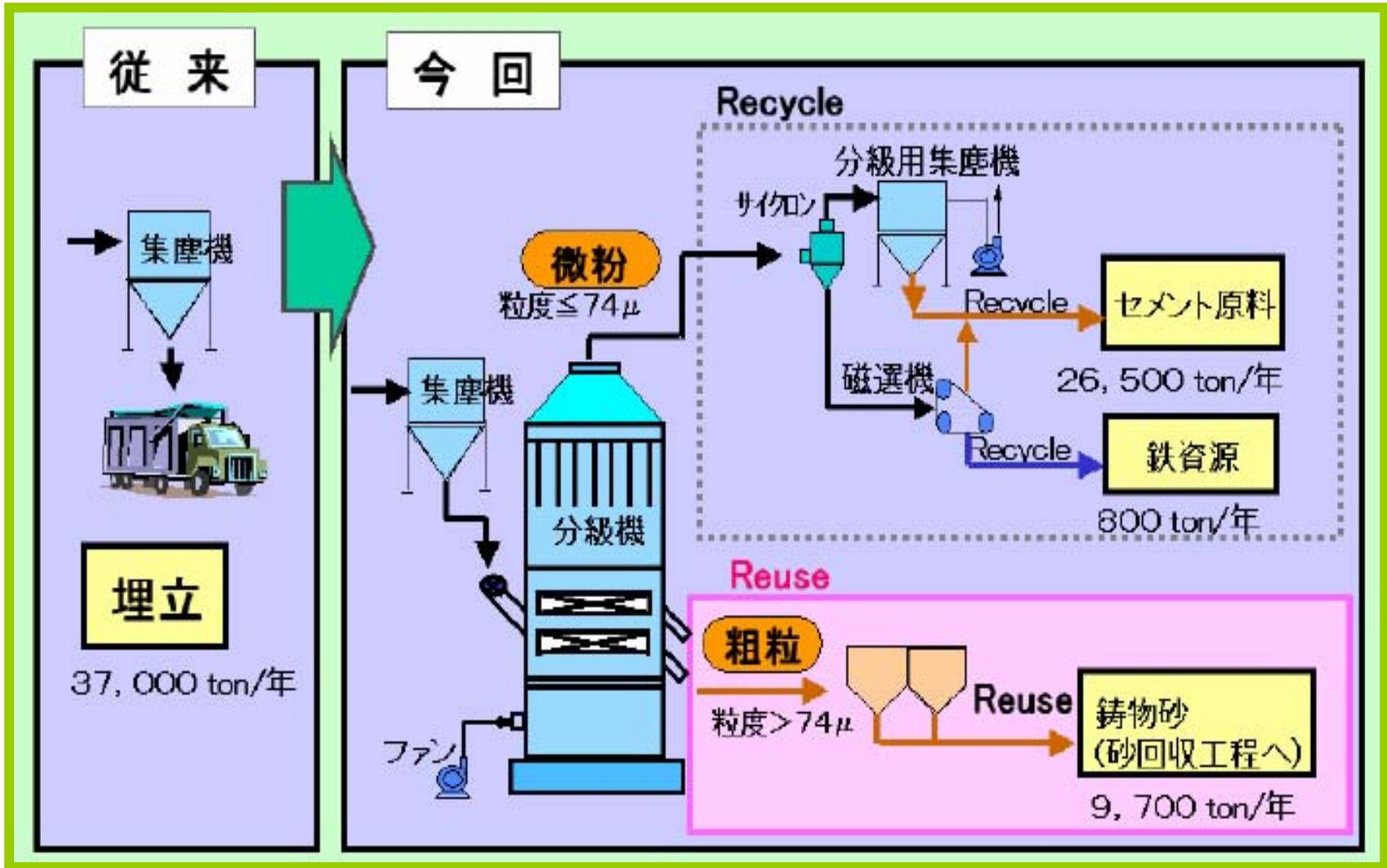
1. 新規開発の低溶剤型塗料と、塗装効率の高い塗装ロボットの導入による塗料の使用量削減により、排出されるトルエン、キシレンなどの揮発性有機化合物*を約45%削減。
* VOC=Volatile Organic Compounds
2. 中塗り塗装と上塗り工程とを集約し、エネルギーをCO2換算で15%削減。



出典：マツダ

⑤ 鋳物集塵ダストの分級再使用 事例

Reduce Reuse Recycle



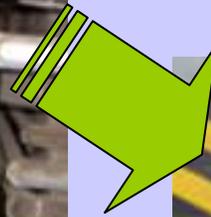
Reduce

Reuse

Recycle

⑥ 工程内端材の活用 事例2

- ・プレス工程の鉄板端材を溶解炉へ投入し、エンジン・足回り等の自動車鋳物部品の金属原料として再利用



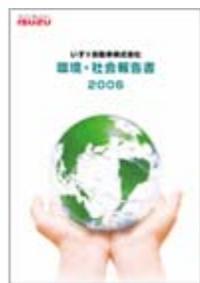
出典：日産自動車

V. 3Rの取組みに関する情報の提供

- 自動車工業会・自動車メーカー各社は環境報告書やホームページ等で広く情報を発信。
- 広報・学習教材としての素材提供などによる市民活動のサポート。
- 工場見学受入れの際の3Rの状況紹介。



日本自動車工業会



いすゞ自動車



スズキ



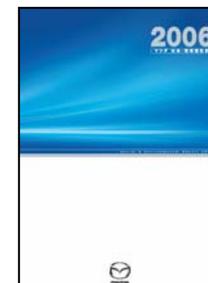
トヨタ自動車



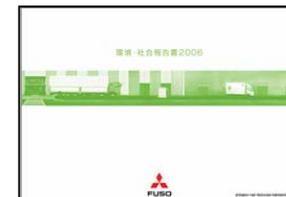
日産ディーゼル工業



富士重工業



マツダ



三菱ふそうトラック・バス



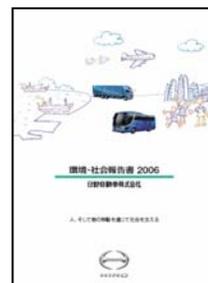
川崎重工業



ダイハツ工業



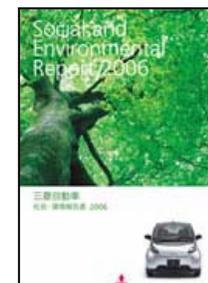
日産自動車



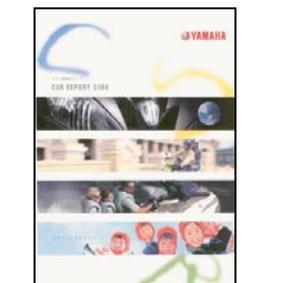
日野自動車



本田技研工業



三菱自動車



ヤマハ

VI. まとめ

自動車メーカーは3Rの観点で、製品の開発・生産・使用・廃棄の各段階で取り組みを進めており、特に製品である自動車については、燃費向上や排出ガス低減といった環境課題や安全性の向上と3Rとの並立を高度のレベルで推進している。

自動車メーカーはこれからも人や自然と車が持続的に共生できる社会の実現を目指し、環境と経済を両立させる技術開発やその普及など一層の取り組みを推進する。